◆賞品準備: 寄付分の不足を補充し山本さん中心に準備
◆グルニエ神父よりJOCコーナーを設置する提案あり。
⇒バザー委員会で設置場所検討する。

8. 委員の改選とグループ形成について: 多くの議論があったが、今回の結論骨子は次の通り。
◆グループ制を導入したが、その活性化に向けより一層の努力が必要。
◆そのためには各グループ運営が信徒全員から「見える」形にする必要があり、更にその為には各グループの「性格付け」を一層はっきりさせていくことが必要。
◆ヨゼフ会、マリア会を問わず、各員のグループへの積極的な参画がなければ回らず、またグループ制がうまく回り出せば、ヨゼフ会、マリア会の負荷も軽減されるはずであり、また各委員の後継者も閾達に選任できるはずである。
◆是非、今年度中に委員を中心として各グループが上記方向に注力願いたい。

9. 財務報告: 特記事項とくに無し。

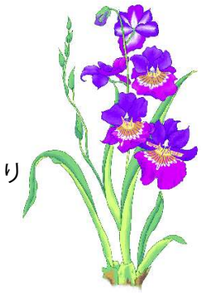
10. 11月(死者の月)の個別のミサ依頼について
グルニエ神父様了承。申込みの用紙を掲示。各自でご記入ください。

11. 泉区民クリスマスについて(竹内さん)
今年は会場が変わったこともあり、だいぶ前回とやり方が異なる。10/11に打合せが開催される。

12. 玄関のガラスの修理について:
10月9日の台風によって玄関のガラスが割れた。緊急修理を要する。(福島さん)

13. 待降節の黙想会・赦しの秘跡について(グルニエ神父)
いつもの通り土曜日に、黙想会とそれに引き続いて「赦しの秘跡」の形で行いたい。

【次回委員会は、11月7日(日)ミサ後】



婦人会だより

＜ 10月17日(日) 29名出席 ＞

1. 始めの祈り、病気の会員のための祈り
(ロザリオ一連、病者のための祈り)
2. 委員会報告
3. 第五地区福音宣教委員会報告
4. バザー委員会報告
案内のチラシを一週間前くらいに教会周辺に配布。
5. バザー関連事項
◆10月3日に食事グループの話し合いをし、役割分担を決める。 責任者： カレーライス 大宮さん
おはぎ 中島さん
◆10月14日 午後手作り品値段つけ。
(手芸グループのみなさんや、材料を持ち帰って家で作ってくださった方の努力、また自主作品の提出などで作品がたくさん揃いました。)
◆10月18日 マドレーヌ試作 (責任者：小野さん)
◆10月21日 午前10時～雑貨、不用衣料品の値段つけ
◆10月28日 午後1時～ マドレーヌ作り
◆10月30日 午後1時～ バザー前日の作業(4時からミサあり)
6. 来年度の役員についての話し合い
現在までに、まだ3名しか新役員が決まっていません。これとの関わりで、新しい運営基準に則ったグループ形成についても話し合いがもたれ、いろいろな意見や考え方がだされました。
途中、下村委員長にも説明に来ていただき、婦人会（マリア会）としても実施方法などについての案を出してくださいとのことでした。
7. お知らせ
・新会員紹介
村上ふみ絵さん（D地区） 801－1430（島田様方）
鶴田和子さん （D地区） 802－0100
・婦人同志会から
①黙想会： 11月24日(水)11時30分から 菊名教会
②歌舞伎鑑賞会： 12月9日(木) 申込み用紙にお書きこみください。
【次回例会は11月21日(日) 聖堂の掃除用具当番、例会のお茶当番はD地区】

壮年会だより

＜ 10月17日(日) 14名出席 ＞

1. 委員会報告： 詳細略。『委員の改選/グループ形成』に関して多くの活発な議論あり。
2. バザー(10/31)準備:
◆前日(10/30)の準備に、11名の会員の方の参加を頂けることになり、準備すべき項目の確認を行った。
(シート張り、仕切り版はずし、テント張り、買い物、…etc.)
◆当日の各売り場(焼き鳥、焼きそば、焼きいか、飲み物、食券、青空市(古本市))の係分担の確認をした。
さらに、新しい会員の方々に参画をお願いしていく。
◆当日の立て看板の設置は竹内さんにお願いした。
◆当日は子供向けに、ビンゴ、ヨーヨーを行う。(井上さん担当)
3. 恒例の壮年会ハイキング (山田さん担当)
11月13日(土曜日)
コースは京急富岡～八景島の平らなコース。
4. 黙想会は12月4日(土曜日)に行うことに決定
注: 黙想会に引き続いて「赦しの秘跡」。
5. 10-12月の当番表の更新を行った。
6. 10/9の台風22号で壊れた玄関ドアガラスの緊急修理
14万円の支出となる見込み(福島さん)。
7. 小谷さんの「クリスマスカード」のご提案の件
毎年壮年会より寄付しているケーキとセットにすることとした。

お知らせ

洗 礼	10 月 8 日 ヨゼフ 仲村正一様
結 婚	11 月 3 日 アロイジオ 荒木秀和様 稲垣佳世様 (東京カテドラルにて)
行 事	11 月 5 日 (金) 午前 10 時から 死者のためのミサ
	11 月 14 日 (日) 七五三のお祝い
	11 月 21 日 (日) 初聖体 (石井築雄くん、森脇真美さん)
	12 月 4 日 (土)14 時から 待降節の黙想会 (久我純彦神父様) と赦しの秘跡

広報 なかわだ
第３０６号
2004年 11月号
中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北 1丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141
http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/
平成16年11月7日

11月の予定

委員会	11月 7日
壮年会､婦人会	11月 21日
七五三の御祝	11月14日
サロン	11月14, 28日

秋晴れを深く味わいながら

主任司祭 ジャック・グルニエ

稚内も、そしてケベックも緯度が一緒です。ですから、今の稚内の住民も、長く続く冬へ入る心構えはもうできているだろうと思います。ここで私は父のことを思い出します。実は、父にとって、『11月』というのはあまり喜ばしく聞こえる言葉ではなかったらしいです。なぜなら、日が早く沈み、また朝になっても空が明るくなるまでにはすごく時間がかかるこの時期は、どうしてもいやな感じがするからです。どうでしょうか、稚内にもそれと近い気持ちになる人が少なくないといえるのではないでしょうか。

「御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移してくださいました」(コロサイ1.13)。教会のことを考えますと、わたしはそう思います。わたしたちは、11月の朝のすばらしい日が昇るところにちょうど立っているのではないかと感じます。実は、まだ闇と光の間にいると言ってもいいかもしれませんが、どちらかと言えば光に一番近いところに立っているに違いありません。わたしたち皆が「曙」そのものの存在です。そうです。秘跡の体験ができるからこそ、わたしたちは今、主によって、主とともに、また主の内に生きているのだとはっきり分かります。秘跡とはすごいところですね。

そうです、幸いに今年の11月に、わたちたちの中で二人の子どもが初めてご聖体を受けるようになりました。その仲間の名前は、石井築雄さんと森脇真美さんです。幸せだな！

イエスは神との一致を実現する秘跡を残そうと思った時、いったいなぜ食卓、食べ物を先ず連想されたのでしょうか。たとえば、そうではなくて、スポーツ大会（野球とか、サッカーとか、オリンピックのようなイベントでもいいかな）、あるいはハイキングの形にした巡礼のために集まった人々の中で、秘跡を形作ろうかという考えもあったと思われます。でも、主イエスは、人々が一緒になっておいしい物を食べながら、同時に楽しいおしゃべりもできるということをよく知っておられましたし、また同じイエスは、中和田教会の信徒も主任司祭も含めてそういうことが大好きだということも前もって見ておられ、微笑まれていたのではないかと信じます。

そこで、決まった！ いまこそ、わたしたちを照らす日が昇るときを、一緒に十分味わおうではありませんか！

第37回横浜教区一粒会大会に参加して

一粒会委員 竹内 広治

ある二俣川教会は、相鉄線・二俣川駅南口から自然公園通りのなだらかな坂道を、側にあります。一歩一歩足を進めるうち懐かしい思いにかられ、柄になく心のとどめどを発見ます。私どもが中和田教会に転入する以前、二俣川教会には長らくお世話になりました。今日は久しい9年振りの訪問です。改築され立派になったお聖堂へ入り、往事を偲ぴながら目を閉じて開会を待ちました。

2004年9月20日、第37回横浜教区一粒会大会が「召命を求めて」を今年のテーマとして始まりました。先ずは横浜教区一粒会の本部委員長・福本氏のご挨拶のなかに、司祭の高齢化と減少という厳しい状況のなか、この大会を契機に一粒会活動を見直し、原点に立ち返って皆様と共に考えたいと述べられ、皆様のご協力とお祈りを頂いて実り多い大会に致したいと結ばれました。

続いて梅村司教様の基調講演です。司教様がこの様な形の講演をなさるのは珍しいと思います。どんなお話が伺えるのか期待したいところです。

各教区の神学生と召命志願者の状況をいろいろお話になり、なかでも横浜教区は神学生が増加の方向にあるというのは喜ばしいことと思います。「これから先のことについて、私はあまり悲観的に考えてはおりません」と和やかな口調でお話になられたのが印象的でした。

講演の終わりにあたり、司教様ご自身の希望として、「若い人の司祭叙階のお恵みを願い、その後の霊的成長を見守ることが私の務め」と述べられ、「一粒会の皆様のお祈りとご支援を心から感謝すると共に、引き続きご援助を賜りたい」と願われ降壇なさいました。

次は教区内で青少年問題に関わっておられる方々をパネラーとした、パネルディスカッション「若い人達と交わるなかでの問題点」が始まります。茅ヶ崎教会主任の鈴木師、教区青少年委員の岸氏、村田氏、常任本部委員の中野氏、そして司会の福本氏、皆様ご紹介の後、それぞれのグループ内の事情や問題点を報告、その対応や発見を意見として発表されました。中には傾聴すべきご意見もあり、ご苦労の連続に同情しきりの感なきにしあらずであります。少子化がすすみ、子供の声が珍しいなどと大人達が語り合うその内に、高学年に達した少年少女達は、教育と言う名の嵐に揉みに揉まれ、価値観の多様化に迷い彷徨っているのです。その状況の中で、パネラー方は次のような提言をされました。

「召し出しは恵み、その栄光は家庭から」という通り家庭が一番大事なのですと、パネラー方の一致した意見でした。この提言をなされる迄のプロセスは、それぞれ、いろいろとあって長くなりますので割愛いたします。

続いて梅村司教様と、今年は多かった司祭方による共同司式のごミサが厳粛に行一同は心から、ごミサを通じて祈った中に信徒一人一人が、教会のコミュニケーシ法で打ち立てて行こうと誓うのです。

一粒会総指導司祭の飯野師、二俣川教会主任司祭ビッフィマウリツィオ師のご挨りました。「召命をもとめて」のテーマを胸に、人々は坂道をゆるやかに歩いて帰りますから道行く人影が濃くなって来たようです。ご一緒だった中和田の皆さん気い。さようなら…

ミ サ 当 番 表　(2004 年 11、12月)

月/日	第一朗読者	第二朗読者	共同祈願	奉　納	オルガン	侍　者	先唱者	準備係
11/ 7	宮　崎	永　田	宮　崎	宮崎・内藤	森 田	下迫(瑠)	大 宮	中谷・青柳
11/14	青 年 会	青 年 会	青 年 会	青 年 会	保 科	下迫(桂)・永田	冨 田	下村・丸田
11/21	森　田	町　田	小 山 (恭)	森 田・清 水	岩 渕	石崎・内田	清 水	松下・松尾
11/28	森 脇 (信)	山 本 (照)	森 脇 (信)	森脇 (信)・七 浦	森 田	美底(か)・石井(ま)	竹 内	大原・青柳
12/ 5	小　野	楠　田	小　野	小野・町田	保 科	石井(築)・石井(大)	小野寺	井上・大宮
12/12	青 年 会	青 年 会	青 年 会	青 年 会	岩 渕		東 原	中谷・青柳
12/19	山　田	下　村	鈴 木(旭)	山田・松尾(秀)	森 田		福 島	丸田・下村
12/24					岩 渕			
12/25					保 科			
12/26	井　上	江　尻	井　上	井上・松尾(し)	森 田	美底(か)・森脇(ま)	萩 原	松下・松尾(し)

中和田教会バザー開催!!

10月31日(日)、地域の交わりと教会修繕、そして社会福祉等を目的に、恒例の中和田カトリック教会バザーが開催されました。雨天の中の準備となりましたが、当日は雨も上がり、楽しい一日となりました。

委員会だより

＜ 10月10日(日) 9名出席 ＞

1. グルニエ神父からの『堅信』に関する課題提起・提案
   ⇒委員会としてこれを了承
   《提案内容》: 中和田教会では4年前に堅信式を実施しましたが、そろそろまた実施の時期となっている。しかし、現在可能性が見えているのは3名くらいであり、まだよく調査する必要がある。
   他方、2005年は梅村司教様がシノドス日本代表を務められるのでとくに忙しいので、もし中和田で堅信ミサを行うために司教様をお呼びするのであれば、10月28日までに教区に申し込まねばならない。
   故に、まだ調査が不十分なこともあり、
   - 2005年は梅村司教様を堅信の為に中和田教会にお呼びすることは取り止める。
   - 今後調査を進め、堅信対象者が2005年に堅信を受けるか、2006年にするかを決めて頂き、2005年を希望する場合は他教会にお願いすることとしたい。
2. グルニエ神父様カナダに帰国
   10/17より29までお留守となる。その間、10 月 24 日のミサには鈴木神父様が来られる。
3. 年間行事の確認
   10月30日(日): バザー
   11月 5日(金): 死者のためのミサ (10時から)
   11月14日(日): 七五三 (申込み締切りは11/7)
   11月21日(日): 初聖体 (今年は対象2人)
4. 中和田教会建物修繕関係
   - ヨゼフ(壮年)会、マリア(婦人)会それぞれの例会での審議結果を報告。
   - 共に委員会案を了承。
   - 共に"特別建設献金"につき、100万円という目標額に対し進捗が信徒から『見える』仕組みを要望。
   - 10月17日ののミサ後に改めて委員長、甲斐委員より「特別献金」の説明をする。
   - 11月中旬着工、クリスマス迄に工事を終えたい。
5. 聖公会クルストファー教会との『05.1合同の祈り』
   - 10月14日午後にグルニエ神父様が訪問予定、バザーのご招待状を持参。
   - "合同の祈り"の準備は双方【司祭+信徒(役員、非役員各1名)】、計6名で検討を進める。
   - 中和田教会は竹内委員中心に進める。
   - 合同の祈りは1月18日(火)から25日までの間に行われることが検討されている。
6. 末吉町教会黙想会会場使用料について
   結論として3千円頂くこととする。
7. バザー準備状況
   - ちらし配布: 教会のご近所は婦人会に依頼。
   - こども向け出し物(ビンゴ、他): 井上さんに確認